

船橋非常通信連絡会ニュース

オムニア、ミーティング 432.76MHzにて **第43号** 常用周波数 (MHz)432.76

毎土曜 22:00~, 毎日曜 10:00~ **[MAR/2008]** 145.76, 1295.78, ビータ1292.72

混信なら Down QSY, 20KHz づつ 432.56MHz まで JJ1YNA H.P <http://www.jarl.com/jj1yna/>

第32回定期総会のお知らせ

船橋市アマチュア無線非常通信連絡会と、船橋市アマチュア無線クラブの定期総会を下記の通り開催いたしますので、万障お繰り合わせの上ご出席のほどお願いします。

日時：平成20年4月13日(日) 10:00 -12:00

会場：船橋市消防局 5階講堂

(市役所向かいの中央消防署のある建物)

駐車場：市役所 第2駐車場

議題 1 . 非常通信連絡会定期総会

平成19年度事業報告

平成20年度事業計画

休憩、記念撮影

議題 2 . クラブ定期総会

平成19年度事業報告および会計報告

平成20年度事業計画及び予算計画

その他

船橋市防災フェア2008

船橋市防災フェア2008は、1月19日に船橋市中央公民館で開催されました。

今回のイベント会場は中央公民館の前広場での公開運用となりました。

当日は気温が低い中でしたが、風も穏やかで陽が当たっていたので、それほどには寒さは感じられませんでした。また、天気もよく大勢の参加者が集まっていました。

公開運用はJJ1YNAクラブ局運用として、50/144/430/1200MHzの4バンド運用としました。

特に、430MHzのアンテナは、中央公民館の協力で屋上に設置することが出来たので、たくさんの局からの信号が入感していました。



公開運用をしている場所に藤代船橋市長と松戸市長公室長が見学にこられ、しばし歓談の後で記念撮影をしました。公開運用の結果ですが、一般局と交信できたのは、50MHzの3局でした。また、今回の反省点としては、現場の撤収が早すぎて、講演会終了時刻とのタイミングがずれてしまい、一般市民の皆さんが楽しみにしていたイベントを見学できなかったことが挙げられます。

参加者 JA6AZE 7L3UQW JH1MQC JH1GEN JK1PIK JS1IWA JA10QX JK1TUJ (JA1BWA 講演会参加)
JJ1DPD JR1DIU (JR1YUX) 行事担当 JH1MQC



防災フェア参加レポート JH1GEN 高間 治基

1月19日 中央公民館の国旗ポールを背にしてテーブル2台にV、Uのセット、新しい横断幕を掲げて、またもやYNAのコールでCQを出し運用しました。50MHzのSSBで2局ゲット、430MHzでは応答なし、JS1IWA局は、50MHzで筑波山から出ている局をコールしてゲットしていました。また、通行人も興味がある人もいて、今年が一番盛り上がったなぁと感じました。それにしても、トラックの不法局が多いことには困ったものです。

予定していた局は、7L3UQW、JS1IWA、JA6AZE、JH1MQC、JH1GEN、遅れて参加はJA10QX、当日都合をつけての参加はJK1TUJ、JK1PIK、JR1DIU伊藤さんとJJ1DPD湯浅さん、講演会に参加しますと挨拶を交わして通過したのはJA1BWAさん。

「町会の代表としてイベントに参加する義務がある」と言われたのに我ながら納得。
上の写真は、市長をはさんと、ハイ、バター と記念撮影した一コマでした。

ハムの集い参加レポート JA6AZE 説田 克志

3月2日に開催された「JARL千葉県支部ハムの集い」は、JA1QC、JH1MQC、JL1GYB、7L3UQW、のご協力と他数局のご参加で、高城さんは会場設営担当、他は抽選会担当として協力して来ました。全参加は500名、局名の登録者は300局だったとの事、午前中は講演会、午後から式典でJARL会長の挨拶などがありましたが、我々は楽屋裏で作業しており詳細は不明です。

恒例のジャンク市は昼休みに覗きに行ったところ「めぼしい物は1時間で売り切れた」と販売側が云っていました。なお、当クラブの昨年の協力に対して、支部長から感謝状をいただきました。

また、JARL千葉支部のホームページに当日のスナップ写真がアップされていますので、ネット環境のあるお方は、ご覧になると当日の様子がおわかりになると思います。

役員会報告

3月9日(日)飯山満公民館において、第32回非常通信連絡会定期総会に向けての役員会が開催されました。

まず始めに、JR1YUX局の会長JJ1DPD湯浅さんから会長交代についての紹介があり、新会長としてJR1DIU伊藤さんが挨拶されました。

次に、主な議題として式次第の原案について担当役員から本年度の報告と来年度の計画について説明がありました。なお、具体的な内容は総会当日に報告されます。

来年度の行事計画案について審議しました。なお、次の連絡会ニュースで案内する予定ですが、直近の行事としては、5月の移動運用(5月18日予定)と習志野台地区防災訓練(6月8日予定)が役員会にて提案されています。公式には、総会の場で審議の上決定されます。

その他として、フェイスにあるサポートセンターの「ロッカー・レターケース」について、今後は有効利用する方向で、市へ再申し込みを依頼中です。利用が可能となれば、ニュースでお知らせします。

ホームページについて

ホームページの見直しを行うために、昨年9月より関係者と代表者で意見集約後、年明けから打合せをフェイスにて2回行っています。まだ、完全に煮詰まっていませんので再度審議の予定ですが、概要は総会の場と、次号のニュース

(総会報告)で説明する予定です。審議している案件は、主にメニュー画面の変更と追加、文書の見直しと修正について審議しています。決定次第、随時更新作業に入りますので、今しばらくお待ちください。

事務局からのお知らせ

局免許の更新情報についてお知らせします。

ここ半年以内に無線局免許の有効期限が切れる局、新免許状の写し未提出局は下記の通りです。

無線局免許の有効期限が切れる局	新免許状の写し未提出局
JK1TUJ	JN1XAB
7N2SDA	7L2NWB
7M4NBV	7L2USW
JN1MSM	7M2EAI
JA1WOI	JA1CVG
JL1FJB	

局免許を更新された際は、新免許状の写しを事務局宛てに必ず送付下さい。

写しの到着をもって更新の確認としています。

事務局 防災課 工藤、金子

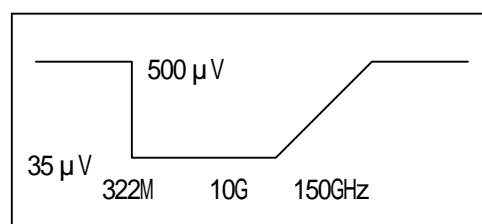
電波法第四条 無線局を開設しようとする者は、総務大臣の免許を受けなければならない。ただし、次の各号に掲げる無線局については、この限りではない。

アマチュア無線家ならこの法律はご存知ですね。そうなんです。どんな電波を発射する場合でも免許が必要なのです。でも条文にある通り、これには例外があります。

この法律の各号に挙げられている例外は、微弱電波、27MHz の技術基準適合証明機、特定小電力 M C A です。自作機の場合には微弱電波しか例外はありません。

微弱電波の内容はここには書かれていません。有名な $3m500\mu V/m$ の規定は電波法施行規則にあります。が、実際はもう少し複雑です。

規則では、3mで322MHz以下は $500\mu V/m$ 、そこから10GHzまでは $35\mu V/m$ となっています。この $35\mu V$ という数字は非常に厳しい数字です。受信機からの電波漏れの許容値、 $4000pW$ ですから、3mに換算すると $148\mu V/m$ なのでから....材イ!



と、言う訳で、微弱電波による機器は322MHz以下でないとう実用性がありません。150GHz以上でも良いですが、受信が大変ですね。では、実例を見てみましょう。

(A) FMワイヤレスマイクの到達距離は法律上6mです。これは告示によって受信機の感度を $250\mu V/m$ としてサービスエリアを計算することになっているからです。この告示が利用を想定しているのは放送局だけですが、実際は $100\mu V/m$ 程度の感度です。

(B) AMワイヤレスマイクの到達距離もやはり6mです。意外なことに、微弱電波の世界ではAMもFMも到達距離は同じです。これは告示がAM受信機の感度も $250\mu V/m$ としているためですが、実際の処、都市雑音で受信感度は制限されてしまいます。

(C) 警備用などの映像伝送装置やデータ伝送装置は皆300MHz~320MHzを使っています。これは周波数が高いほうが受信アンテナのゲインを上げやすいためです。322MHzを超えると急に電界強度の規制が厳しくなりますからその手前ということでこの周波数が選ばれています。ちなみに、とあるメーカーはアンテナ固定でモノクロ画像が100m伝送可能としていますから、20dBぐらいの受信アンテナを想定しているようです。

(D) それよりも強い信号を出したい場合は、施行規則第六条の二の500mで $200\mu V/m$ という規定が適用される物を作る手があります。周波数は13.56MHz、27.125MHz、40.68MHz付近のみであり、使用場所にも制限がありますが、 $1\mu V/m$ が受かる受信設備があれば、理論上は64kmの通信が可能です。強いて問題があるとすれば、工業用加熱炉やラジコンもこの周波数を使っているので、これらの周波数が雑音の山だという事ぐらいでしょう(笑)。実際は混信が無くても数km、多少の混信があると数百mが限界です。

なお、wikipediaにはGHzオーダーのISMバンドも無免許で使えるような記述がありますがこれは間違いで、技術適合証明を必要とします。

インフォメーション

第2回移動運用報告の記事訂正とコンテスト結果報告

ニュース第42号の第1回移動運用報告に誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

誤り：第1回移動運用 訂正後：第2回移動運用

すでに、BBSにてお知らせしていますが、昨年実施されましたJARL all 千葉コンテストに第2回移動運用（11月11日実施）とあわせて当クラブが参加しています。

オペレーターは、JH1GEN高間さんお一人でした。

JARL千葉支部のホームページに結果発表がされていますので、抜粋してお知らせします。

以下 結果発表の抜粋

県内 社団の部					クラブ対抗の部 船橋市アマチュア無線クラブ	
順位	コールサイン	得点	マルチ	総得点	順位	総得点
6	JJ1YNA	51	17	867	13	867

以上です。高間さん お疲れさまでした。

船橋市アマチュア無線クラブ入会者のお知らせ

7N4DTS 久家(くげ)さん 薬円台在住が、クラブに入会されました。

連絡会には未入会ですがオンエアミーティングには参加されていますので、仲間として益々のご活躍を期待しましょう。

編集後記：連絡会ニュースも今回で43号を迎えます。ここでニュースの履歴について振り返ってみました。創刊号から第23号までは富士通製のワープロソフト「オアシスで編集」、第24号からはワードで編集されています。また、編集を担当されたお方は、創刊号から第7号まではJA1BWA 高橋さん（第4号はJA10QX 阿部さんのご協力、第5号、第6号はJK1PIK 村上さんが編集）が担当されていました。第8号からはJK1PIK 村上さんへパトントッチ、第9号からJS1IWA 私、吉野が村上さんに協力して第35号まで二人で編集、その後第36号からは私、吉野が編集して現在に至っています。

時間軸から見ますと、起点が1997年ですから、すでに10年の歳月が経過しています。

ニュースは、会の活動記録として残る唯一の大切な資料です。

データベースとして残す必要がありますが、オアシスで編集していた当時の電子ファイルはありません。スキャナーで取り込み、ワードに貼り付けて保存しようかと考えています。

編集発行 船橋市アマチュア無線非常通信連絡会 船橋市アマチュア無線クラブ JS1IWA

欧文通話表 運用規則（別表5）による正式なもの その他よく聞く慣用のもの

文字 使用する語 発音 語句（カタカナ発音）

A	ALFA	アルファ	<u>AL</u> FAH	America (アメリカ)、Able (エイブル)
B	BRAVO	ブラボー	<u>BRAH</u> <u>VOH</u>	Boston (ボストン)、Baker (ベーカー)
C	CHARLIE	チャーリー	<u>CHAR</u> LEE	Colombia (コロンビア)、Canada (カナダ)
D	DELTA	デルタ	<u>DELL</u> TAH	Denmark (デンマーク)
E	ECHO	エコー	<u>ECK</u> OH	Edward (エドワード)
F	FOXTROT	フォックストロット	<u>FOKS</u> TROT	Florida (フロリダ)、France (フランス)
G	GOLF	ゴルフ	GOLF	Germany (ジャーマニー)
H	HOTEL	ホテル	<u>HOHTELL</u>	Hawaii (ハワイ)、Honolulu (ホノルル)、Henry (ヘンリー)
I	INDIA	インディア	<u>IN</u> DEE AH	Italy (イタリー)
J	JULIETT	ジュリエット	<u>JEWW</u> LEE <u>ETT</u>	Japan (ジャパン)、Jack (ジャック)
K	KILO	キロ	<u>KEY</u> LOH	Kentucky(ケンタッキー)、King (キング)
L	LIMA	リマ	<u>LEE</u> MAH	London (ロンドン)
M	MIKE	マイク	MIKE	Mexico (メキシコ)、Mary (メリー、メアリー)
N	NOVEMBER	ノベンバー	<u>NOVEN</u> BER	Nancy (ナンシー)、Norway (ノルウェー)
O	OSCAR	オスカー	<u>OSS</u> CAH	Ocean (オーシャン)、Ontario (オンタリオ)
P	PAPA	パパ	PAH <u>PAH</u>	Peter (ピーター)、Portugal (ポーチカル) ?
Q	QUEBEC	ケベック	KEH <u>BECK</u>	Queen (クイーン)
R	ROMEO	ロメオ	<u>ROW</u> ME OH	Radio (レイディオ)、Robert (ロバート)
S	SIERRA	シエラ	SEE <u>AIR</u> RAH	Spain(スペイン)、Sugar (シュガー)、Santiago (サンチャゴ)
T	TANGO	タンゴ	<u>TANG</u> GO	Tokyo (トーキョー)
U	UNIFORM	ユニフォーム	<u>YOU</u> NEE FORM	Uncle (アンクル)
V	VICTOR	ビクター	<u>VIK</u> TAH	Victory (ビクトリー)
W	WHISKEY	ウィスキー	<u>WISS</u> KEY	Washington (ワシントン)
X	X-RAY	엑ス레이	<u>ECKS</u> RAY -	
Y	YANKEE	ヤンキー	<u>YANG</u> KEY	Yokohama (ヨコハマ)、Yoke (ヨーク)
Z	ZULU	ズール	<u>ZOO</u> LOO	Zebra (ゼブラ)、Zanzibar (ザンジバル)

ラテンアルファベットによる英語式の発音の表示において、下線を付してある部分は語勢の強いことを示す。

使用方法は例えばA B C・・・と伝えたい場合、通常は alfa bravo charlie・・・といれます。

会話的に「AはalfaのA」のようにいう場合は [A for alfa] 又は [A as in alfa] が一般的です。